

4. ソーシャル・キャピタルの定量的把握と効果分析

(1) ソーシャル・キャピタル指数の試算（地域別）

ここでは、わが国のソーシャル・キャピタルの地域別状況について定量的把握を試みる。手法としては、パットナムがアメリカの州別データを用いて行った方法に倣い、関係指標の合成指数を作成することにより、求めることとした。

そこで、ソーシャル・キャピタルの3つの構成要素に該当する個別指標について、今回実施したアンケート調査項目等から、都道府県データとしての有効性等を検討したうえで、採用個別指標をリストアップした（図表 III-25）。

今回の試算では、各個別指標を相互比較が可能なように基準化（平均を0、標準偏差と分散を1となるように標準化）した後に、3要素それぞれについて採用する個別指標の単純平均をとり、これをそれぞれの構成要素の「指数」とした。さらに3構成要素それぞれの指数値の単純平均をとったものを求め、「統合指数」と呼ぶこととした。

図表 III-25 各構成要素における個別指標

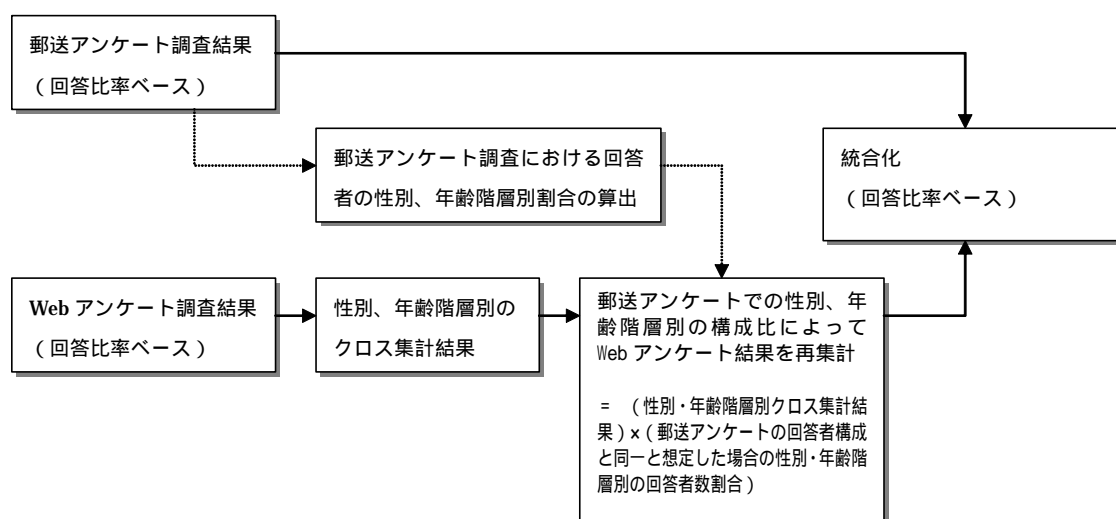
構成要素	(サブ指標)	採用する個別指標
I. つきあい・交流	(近隣でのつきあい)	<ul style="list-style-type: none"> (i) 隣近所とのつきあいの程度 (ii) 隣近所とつきあっている人の数 (iii) 友人・知人とのつきあいの頻度 (iv) 親戚とのつきあいの頻度 (v) スポーツ・趣味・娯楽活動への参加状況
	(社会的な交流) 単純平均値を算出 つきあい・交流指数	
II. 信頼	(一般的な信頼)	<ul style="list-style-type: none"> (vi) 一般的な人への信頼 (vii) 近所の人々への信頼度 (viii) 友人・知人への信頼度 (ix) 親戚への信頼度
	(相互信頼・相互扶助) 単純平均値を算出 信頼指数	
III. 社会参加	(社会活動への参加) 単純平均値を算出 社会参加指数	<ul style="list-style-type: none"> (x) 地縁的な活動への参加状況 (xi) ボランティア活動行動者率 (xii) 人口一人当たり共同募金額



統合指数（I～IIIの個別指数の単純平均値）

なお、今回実施したアンケート調査結果を用いた各個別指標のデータについては、郵送アンケート結果と Web アンケート結果の合計値を利用している。ただし Web アンケート結果のサンプルは実際の我が国全体の年齢構成と大きく異なっているため、実際の年齢構成に近い郵送アンケート結果のサンプルと同じ年齢構成となるように集計結果を調整した（図表 III-26）。

図表 III-26 都道府県別の郵送アンケート調査結果、Web アンケート調査結果の統合方法



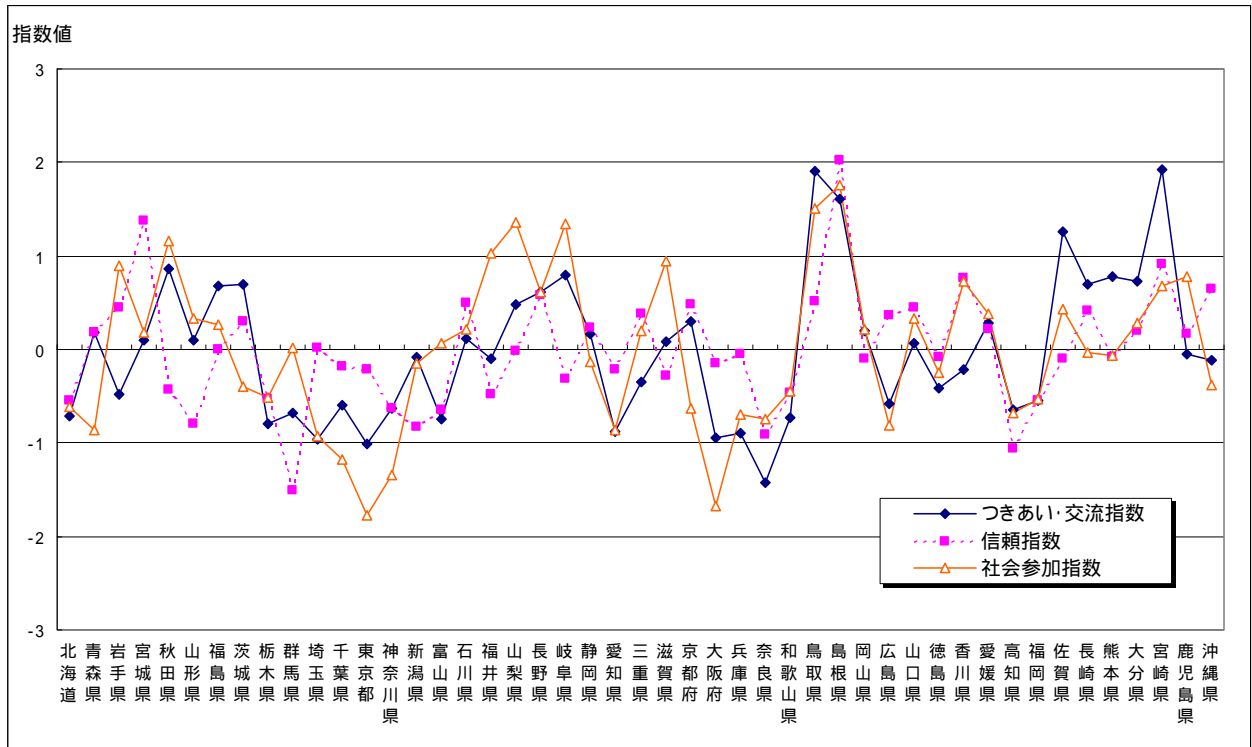
試算結果(都道府県別の3構成要素の指数および統合指数)は、図表 III-28a,b のとおりである。概ね東京や大阪等の大都市部において値が相対的に低く、地方部の値が相対的に高い傾向にある。

また、3指数および統合指数とも、都道府県別の差異については同じような傾向がみられる。図表 III-27 では各指数間の相関係数を示しているが、全てプラスの値であり、各々が正の相関関係にあることが確認できる。このことは、先の個人の回答レベルの分析で明らかにしたように、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」の3つの構成要素の間に相互依存・相互波及の関係があることが、地域レベルのデータからも確認できたことを示している。

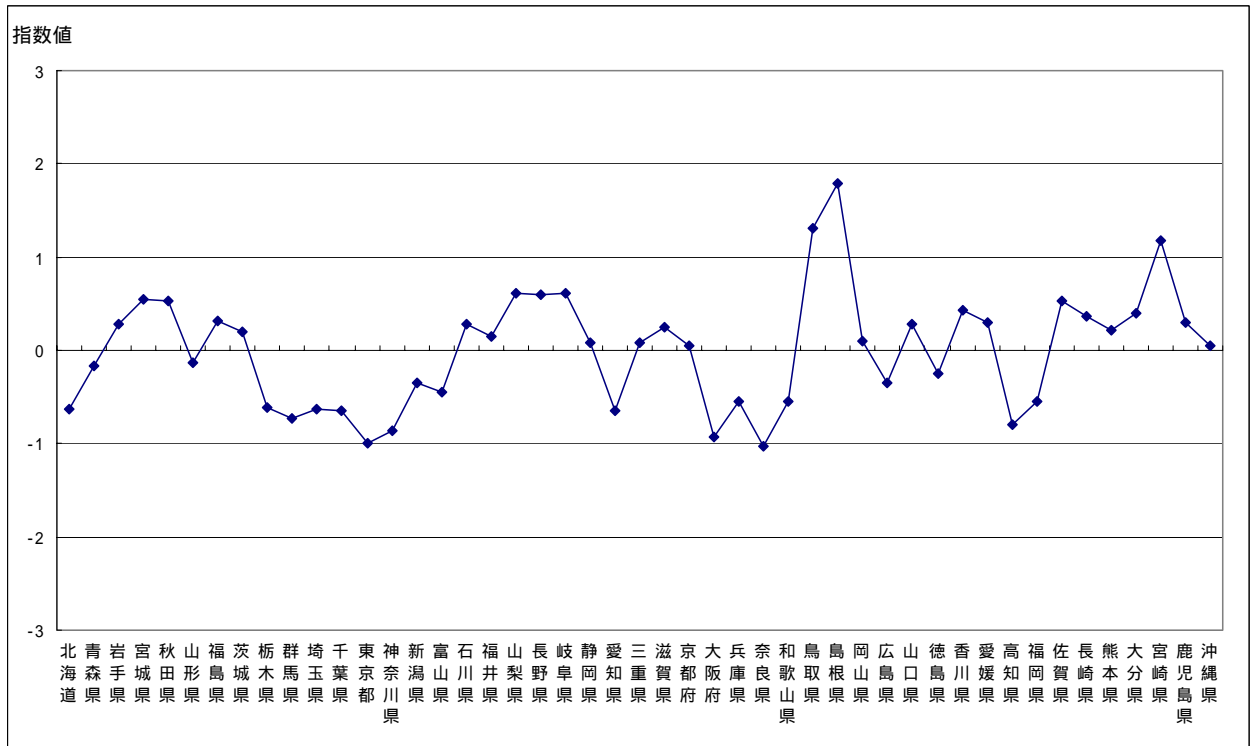
図表 III-27 各指数間の相関係数

	つきあい・交流指数	信頼指数	社会参加指数	統合指数
つきあい・交流指数	1.0000	0.5285	0.6917	0.9048
信頼指数	0.5285	1.0000	0.3508	0.7158
社会参加指数	0.6917	0.3508	1.0000	0.8527
統合指数	0.9048	0.7158	0.8527	1.0000

図表 III-28a 都道府県別の3構成要素の指数



図表 III-28b 都道府県別の統合指数



(参考) 個別指標の主成分分析

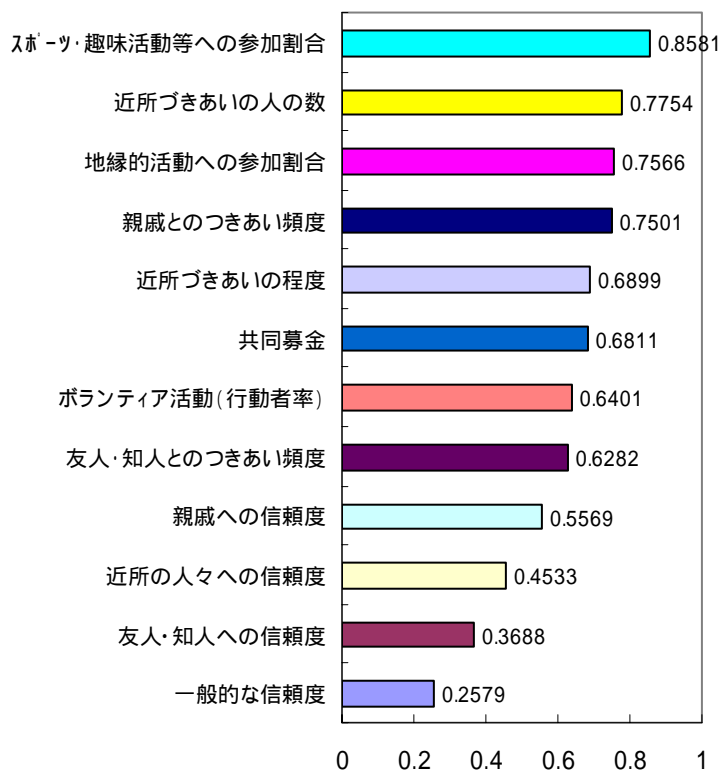
参考までに、上記の採用された12の個別指標について主成分分析を行った結果を、下図表に示した。第1主成分において12のすべての指標の係数がプラスとなり、また第1主成分の寄与率も41.4%と高いことから、12指標は相当程度、同じ傾向を有する指標群として捉えることが可能であり、しかも先ほど示した「統合指数」のように個別指標を総合指数化することが妥当であることが確認できる。

図表 III-29 主成分分析結果(1)

固有値表	固有値	寄与率	累積寄与率
第1主成分	4.8301	41.1%	41.1%
第2主成分	1.4417	12.3%	53.4%
第3主成分	1.2212	10.4%	63.8%
第4主成分	0.9172	7.8%	71.6%

図表 III-30 主成分分析結果(2)

【第1主成分の主成分負荷量】



(2) ソーシャル・キャピタルの効果分析

さらに、ソーシャル・キャピタルの試算値を用いて、ソーシャル・キャピタルが国民生活等の改善に効果をもたらす可能性について分析する。このため、国民生活等に係わるいくつかの指標（(i)完全失業率、(ii)刑法犯認知件数、(iii)合計特殊出生率、(iv)平均余命（65歳以上女性）、(v)事業所新規開業率）を取り上げ、ソーシャル・キャピタル指数を説明変数とする重回帰分析を行った。その結果は、図表 III-31～35 のとおりである。なお、「ソーシャル・キャピタル指数」については、統合指数とともに、参考までに3構成要素の各指数を説明変数として用いたケースも分析している。

これによると、統合指数単独で国民生活関連指標との関係を見ると、統合指数は、完全失業率、刑法犯認知件数に対して逆相関の関係にあり、また合計特殊出生率、平均余命（65歳平均余命）に対して正の相関関係があることが示された。すなわち、ソーシャル・キャピタルが豊かな地域ほど、失業率や犯罪率は低く、出生率は高い。また平均余命も長い。

これらについて、例えば、有効求人倍率（労働力の需給要因）、人口当たりの警察署・交番等の数、家計消費支出に占める教育費の割合（教育費負担要因）といった他の説明変数を加えて、上記の国民生活関連指標との重回帰分析を行ったケースでも、完全失業率と合計特殊出生率との関係では、統合指数の説明力が統計的に有意であることが確認できる。一方、刑法犯認知件数については、統合指数は説明変数として統計的には有意とはならなかった。ただし、構成要素の社会参加指数及びつきあい・交流指数でみると、一定の説明力があることが示唆された。

他方、事務所新規開業率との関係では、統合指数単独では係数の符号がマイナスであり、予想されたものとは異なる結果となったが、都市集積の代理変数として人口集中地区の総人口比率を説明変数に加えた場合は、統合指数が正の相関を有し、ソーシャル・キャピタルが豊かな地域ほど、新規開業率が高いという結果が得られた。

以上のように、ソーシャル・キャピタルが失業率の抑制や出生率の維持に寄与している可能性が窺われる。そのほか、犯罪率の低下や事業所新規開業率の向上などにおいても、一定の相関が見られる結果となっている。

今回の分析は、あくまでも一部の指標について行ったものであり、さらに検討を深めていく必要があるが、ソーシャル・キャピタルがわが国の国民生活等の分野で社会での問題解決能力の向上等を通じて有益な成果をもたらす可能性があることが示唆される。

図表 III-31 完全失業率（2001年）とソーシャル・キャピタル指数との関係

ケース	説明変数							(重)相関係数	
	ソーシャル・キャピタル指数				有効求人倍率(2001)	定数項(切片)			
	統合指数	つきあい・交流指数	信頼指数	社会参加指数					
統合指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-0.54704	-	-	-	4.85319	0.3332	
		t値	2.3703	-	-	-	34.2541		
		判定	**	-	-	-	***		
	重回帰分析	偏回帰係数	-0.33475	-	-	-	-4.18907	7.39337	0.7359
		t値	1.9594	-	-	-	6.4275	18.1041	
		判定	*	-	-	-	***	***	
つきあい・交流指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-0.33769	-	-	4.85319	0.2581	
		t値	-	1.7922	-	-	33.4299		
		判定	-	*	-	-	***		
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-0.26723	-	-	-4.33643	7.48273	0.7369
		t値	-	1.9980	-	-	6.7718	18.6291	
		判定	-	*	-	-	***	***	
信頼指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-0.03243	-	4.85319	0.0201	
		t値	-	-	0.1347	-	32.3036		
		判定	-	-	-	-	***		
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-0.01964	-	-4.43512	7.54257	0.7083
		t値	-	-	0.1142	-	6.6523	18.0328	
		判定	-	-	-	-	***	***	
社会参加指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-0.60508	-	4.85319	0.4919	
		t値	-	-	3.7845	-	37.0823		
		判定	-	-	-	***	***		
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-0.33937	-3.82615	7.17330	0.7536
		t値	-	-	-	2.6019	5.7667	17.3040	
		判定	-	-	-	**	***	***	

(注) 判定欄の、「*」は10%有意、「**」は5%有意、「***」は1%有意を示す。

図表 III-32 刑法犯認知件数（人口千人当たり、2001年）と「ソーシャル・キャピタル指数」との関係

ケース	説明変数							(重)相関係数	
	統合指数	ソーシャル・キャピタル指数			人口1万人 当たり警察 署・交番その 他の派出所・駐在所数 (2001)	定数項 (切片)			
		つきあい・ 交流指数	信頼指数	社会参加 指数					
統合指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-5.11281	-	-	-	-	17.93660	0.5428
		t値	4.3351	-	-	-	-	24.7726	
		判定	***	-	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-1.79642	-	-	-	-7.30521	29.23121	0.6938
		t値	1.3619	-	-	-	3.9809	10.0596	
		判定	-	-	-	-	***	***	
つきあい・ 交流指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-3.90538	-	-	-	17.93660	0.5203
		t値	-	4.0871	-	-	-	24.3637	
		判定	-	***	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-1.65439	-	-	-7.33621	29.27912	0.7030
		t値	-	1.7358	-	-	4.4087	11.0636	
		判定	-	*	-	-	***	***	
信頼指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-1.65289	-	-	17.93660	0.1783
		t値	-	-	1.2158	-	-	21.1451	
		判定	-	-	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	0.470986	-	-9.10328	32.0112	0.6796
		t値	-	-	0.4338	-	5.9294	13.0214	
		判定	-	-	-	-	***	***	
社会参加 指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-	-4.20723	-	17.93660	0.5955
		t値	-	-	-	4.9728	-	25.8995	
		判定	-	-	-	***	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-1.83188	-6.62289	28.17626	0.7050
		t値	-	-	-	1.8106	3.5289	9.4970	
		判定	-	-	-	*	***	***	

(注) 判定欄の、「*」は10%有意、「**」は5%有意、「***」は1%有意を示す。

図表 III-33 合計特殊出生率（2001年）とソーシャル・キャピタル指数との関係

ケース		説明変数							(重)相関係数
		統合指数	ソーシャル・キャピタル指数			家計消費支出額に占める教育費の割合(2001)	定数項(切片)		
			つきあい・交流指数	信頼指数	社会参加指数				
統合指数で説明	単回帰分析	回帰係数	0.14230	-	-	-	-	1.41638	0.6238
		t値	5.3545	-	-	-	-	86.8130	
		判定	***	-	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	0.103691	-	-	-	-4.52137	1.60719	0.6907
		t値	3.6214	-	-	-	2.7200	22.3872	
		判定	***	-	-	-	***	***	
つきあい・交流指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	0.10935	-	-	-	1.41638	0.6016
		t値	-	5.0524	-	-	-	84.9404	
		判定	-	***	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	0.078339	-	-	-4.84291	1.62076	0.6831
		t値	-	3.4624	-	-	2.9379	22.7463	
		判定	-	***	-	-	***	***	
信頼指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	0.06680	-	-	1.41638	0.2977
		t値	-	-	2.0915	-	-	71.0705	
		判定	-	-	**	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	0.047519	-	-7.05326	1.714039	0.6041
		t値	-	-	1.7393	-	4.3753	24.4581	
		判定	-	-	*	-	***	***	
社会参加指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-	0.10443	-	1.41638	0.6104
		t値	-	-	-	5.1701	-	85.6622	
		判定	-	-	-	***	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	0.073189	-4.37074	1.600833	0.6695
		t値	-	-	-	3.1822	2.4551	20.8578	
		判定	-	-	-	***	**	***	

(注) 判定欄の、「*」は10%有意、「**」は5%有意、「***」は1%有意を示す。

図表 111-34 65 歳以上女性の平均余命（2000 年）と「ソーシャル・キャピタル指数」との関係

ケース	説明変数							(重)相関係数	
		ソーシャル・キャピタル指数				定数項 (切片)			
		統合指数	つきあい・ 交流指数	信頼指数	社会参加 指数				
統合指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	0.26518	-	-	-	-	22.56532	0.3951
		t 値	2.8853	-	-	-	-	399.9391	
		判定	***	-	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-	-	-	-
		t 値	-	-	-	-	-	-	
		判定	-	-	-	-	-	-	
つきあい・ 交流指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	0.17262	-	-	-	22.56532	0.3228
		t 値	-	2.2879	-	-	-	388.1759	
		判定	-	**	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-	-	-	-
		t 値	-	-	-	-	-	-	
		判定	-	-	-	-	-	-	
信頼指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	0.21215	-	-	22.56532	0.3213
		t 値	-	-	2.2759	-	-	387.9642	
		判定	-	-	**	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-	-	-	-
		t 値	-	-	-	-	-	-	
		判定	-	-	-	-	-	-	
社会参加 指数 で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-	0.17127	-	22.56532	0.3403
		t 値	-	-	-	2.4274	-	390.7102	
		判定	-	-	-	**	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	-	-	-	-
		t 値	-	-	-	-	-	-	
		判定	-	-	-	-	-	-	

(注) 判定欄の、「*」は10%有意、「**」は5%有意、「***」は1%有意を示す。

図表 III-35 事業所新規開業率（1996～1999年の単年当たり）と「ソーシャル・キャピタル指数」との関係

ケース	説明変数								(重)相関係数
	統合指数	ソーシャル・キャピタル指数			総人口に対する人口集中地区人口の割合(2000)	定数項(切片)			
		つきあい・交流指数	信頼指数	社会参加指数					
統合指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-0.24735	-	-	-	-	3.51551	0.2524
		t値	1.7499	-	-	-	-	40.5113	
		判定	*	-	-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	0.27165	-	-	-	0.026909	2.15856	0.6857
		t値	1.9433	-	-	-	5.8106	8.8947	
		判定	*	-	-	-	***	***	
つきあい・交流指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-0.13843	-	-	-	3.51551	0.1773
		t値	-	1.2084	-	-	-	39.8306	
		判定	-		-	-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	0.206728	-	-	0.025918	2.208544	0.6880
		t値	-	2.0151	-	-	6.0764	9.8187	
		判定	-	*	-	-	***	***	
信頼指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	0.09362	-	-	3.51551	0.0971
		t値	-	-	0.6545	-	-	39.3857	
		判定	-	-		-	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	0.200768	-	0.022254	2.393269	0.6834
		t値	-	-	1.8669	-	6.1457	12.3213	
		判定	-	-	*	-	***	***	
社会参加指数で説明	単回帰分析	回帰係数	-	-	-	-0.34914	-	3.51551	0.4751
		t値	-	-	-	3.6215	-	44.5471	
		判定	-	-	-	***	-	***	
	重回帰分析	偏回帰係数	-	-	-	0.082556	0.02405	2.302724	0.6553
		t値	-	-	-	0.6011	3.9641	7.3448	
		判定	-	-	-		***	***	

(注) 判定欄の、「*」は10%有意、「**」は5%有意、「***」は1%有意を示す。

(3) ソーシャル・キャピタルの時系列分析

わが国のソーシャル・キャピタルの経年変化を追うことは、データの制約からさらに難しい。

ここでは、2003年のアンケート調査結果をもとにした前節の指数化による分析を踏まえ、過去からの時系列比較が可能な関連する都道府県データを用いて、時系列比較を断片的に行った。

図表 111-36 は、ソーシャル・キャピタルの各要素に関連する指標を、NHK 放送文化研究所の「全国県民意識調査」(1978年および1996年)および総務省統計局の「社会生活基本調査」(1981年および2001年)から抽出し、全国集計値の2時点間比較を行ったものである。

これによると、「つきあい・交流」の要素関係で、隣近所のつきあいや親戚づきあいといった項目がこの20年間でかなり減少し、目立った動きとなっている。「信頼」の要素関係では、総じてあまり変化がみられない。「社会参加」の要素関係は、その評価が難しいが、ボランティア活動参加は増加している。

図表 111-36 関連する指標の時系列比較(全国集計データでの比較)

要素	関連する指標	1978年	1996年	増減幅
		(社会生活基本調査は1981年)	(社会生活基本調査は2001年)	
つきあい・交流	「お宅では、隣近所の人とのつきあいは多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	58.9%	51.5%	7.4%
	「お宅では、日ごろつきあっている親せきは多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	63.1%	54.3%	8.8%
	「職場や仕事でつきあっている人と仕事以外のことでもつきあうことが多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	38.8%	38.1%	0.7%
信頼	「隣近所の人には信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	44.6%	44.8%	0.2%
	「親せきに信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	68.4%	66.3%	2.1%
	「職場や仕事でつきあっている人には信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)	40.2%	41.9%	1.7%
社会参加	「あなたは地元の行事や祭りには積極的に参加したいと思いますか」(NHK 全国県民意識調査)	47.8%	46.7%	1.1%
	社会奉仕活動の行動者率(社会生活基本調査)	26.0%	28.9%	2.9%

次に、都道府県レベルでの時系列比較を行う。指標ごとの図表 III-38a～h にて確認できるように、1978年（社会生活基本調査は1981年）時点での各指標の値は、概ね大都市部で低く地方部で高い傾向がみられる。その後の動きを1978年から1996年の増減幅（社会生活基本調査は1981年から2001年）でみると、地方部で減少が目立つ地域が多くみられる。大都市部では減少幅が小さかったり（隣近所とのつきあい、親せきとのつきあい）また増加傾向がみられたりするケース（その他の指標）もある。各指標の1978年の値（絶対値）とその後の増減幅との関係性を分析・整理すると下の図表 III-37 のとおりである。各指標とも相関係数はマイナスとなっており、水準の高い地域では減少の動きが、水準の低い地域では増加の動きが一般的に進行している傾向があることが窺われる。

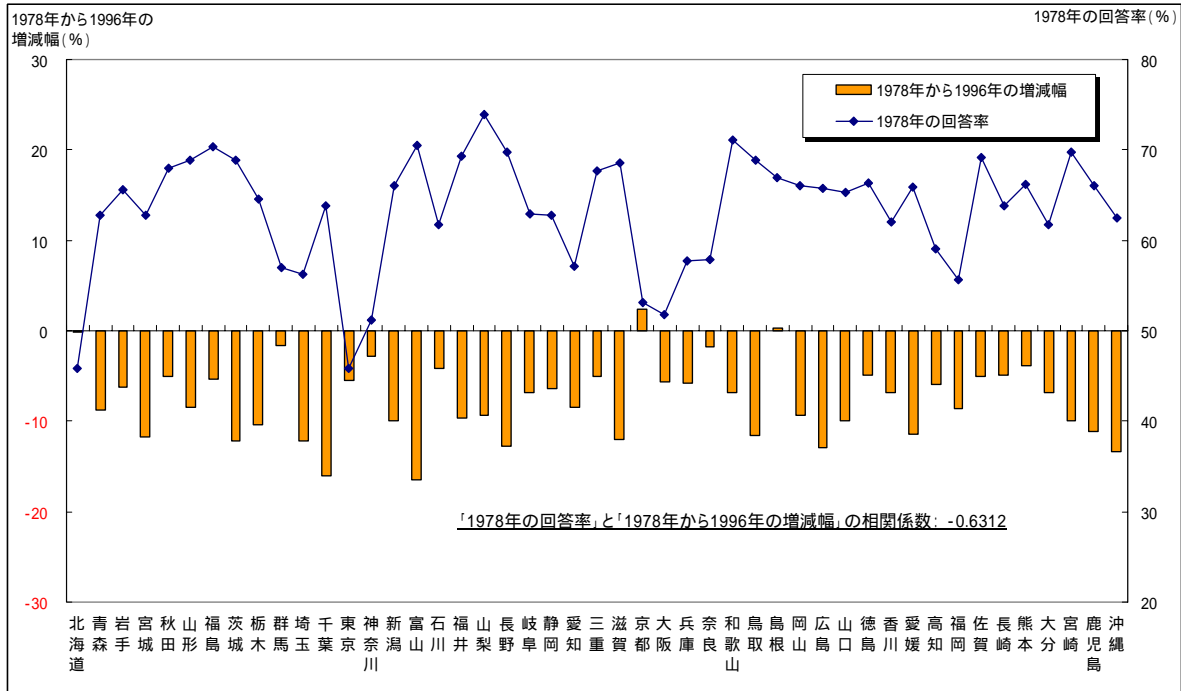
以上の分析から、我が国のソーシャル・キャピタルを全国レベルでみれば、この四半世紀近くの期間において総体として減少してきたかどうかは定かではないが、「つきあい・交流」の要素では近隣つきあいを中心に減少している可能性が窺える。地域別にみるとソーシャル・キャピタルが相対的に豊かな地方部において減退している可能性が窺われる。大都市部（東京都や大阪府、神奈川県等）では横ばいないしは回復の兆しの可能性も窺える。

図表 III-37 1978年の都道府県別の指標値（回答率）と1978年から1996年の増減幅との相関係数
（社会生活基本調査は1981年から2001年）

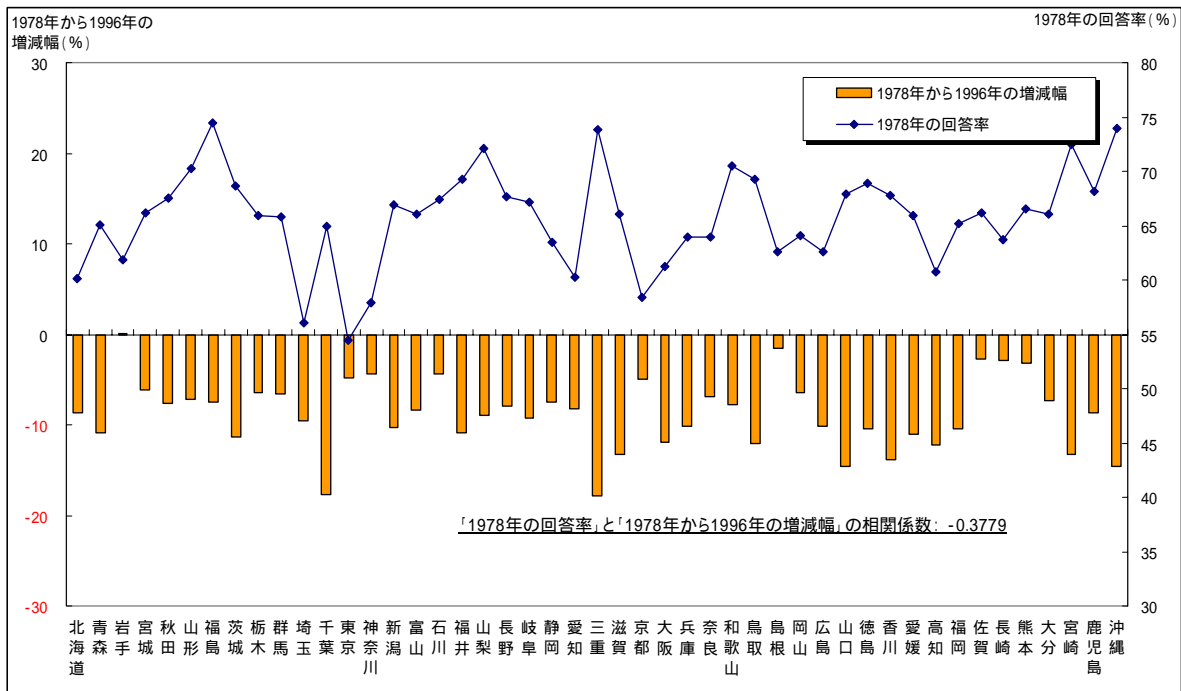
要素	関連指標	相関係数
つきあい・交流	「お宅では、隣近所の人とのつきあいは多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.6312
	「お宅では、日ごろつきあっている親せきは多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.3779
	「職場や仕事でつきあっている人と仕事以外のことで もつきあうことが多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.6693
信頼	「隣近所の人には信頼できる人が多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.6279
	「親せきに信頼できる人が多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.5350
	「職場や仕事でつきあっている人には信頼できる人が 多いですか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.5920
社会参加	「あなたは地元の行事や祭りには積極的に参加したい と思いますか」 （NHK 全国県民意識調査）	-0.4482
	社会奉仕活動の活動者率（社会生活基本調査）	-0.5697

図表 III-38a~h 1978年の都道府県別の指標値（回答率）と1978年から1996年の増減幅との関係
 （社会生活基本調査は1981年から2001年）

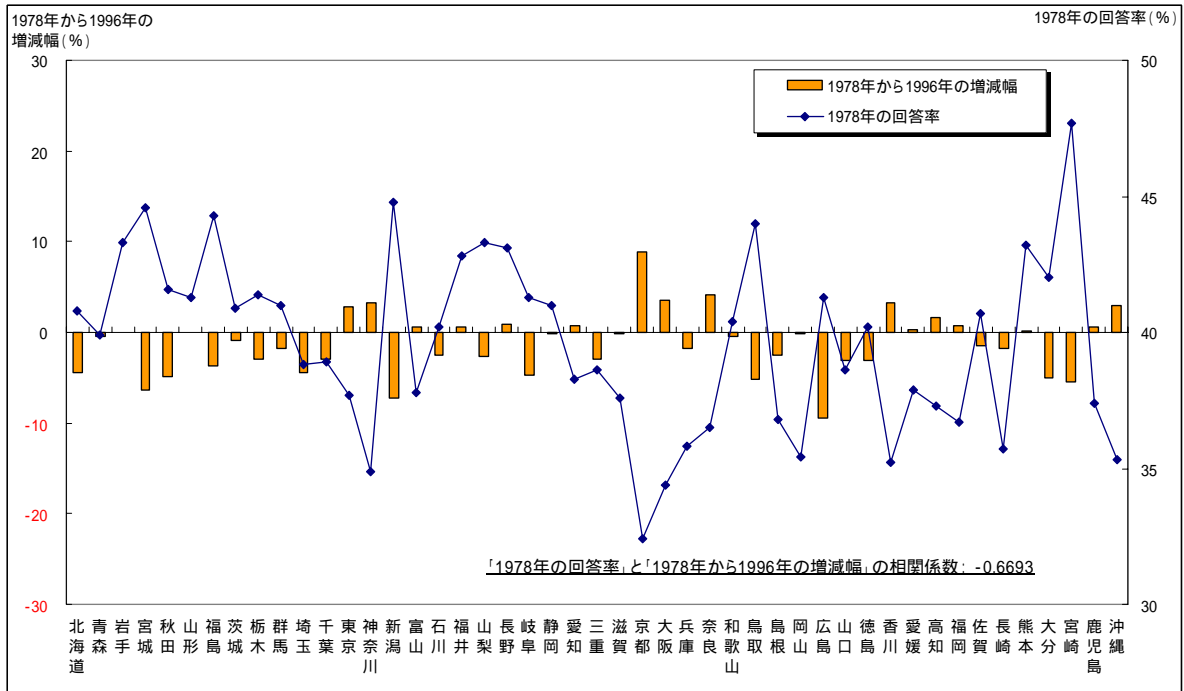
a 「お宅では、隣近所の人とのつきあいは多いですか」（NHK全国県民意識調査）



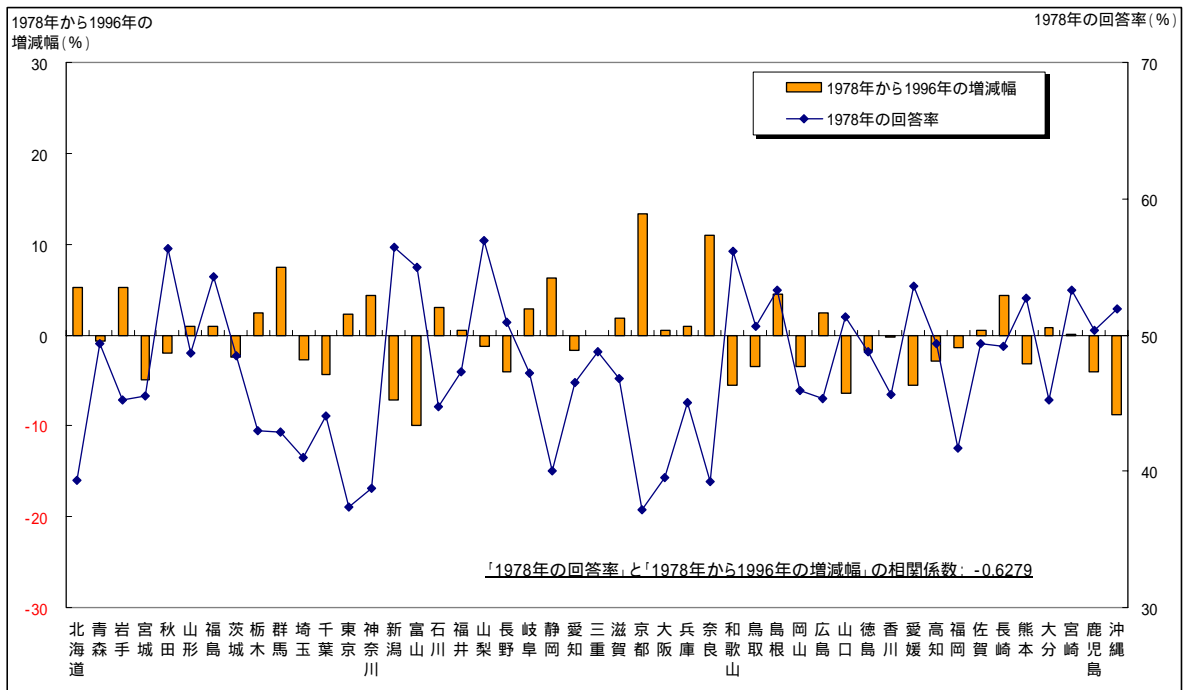
b 「お宅では、日ごろつきあっている親せきが多いですか」（NHK全国県民意識調査）



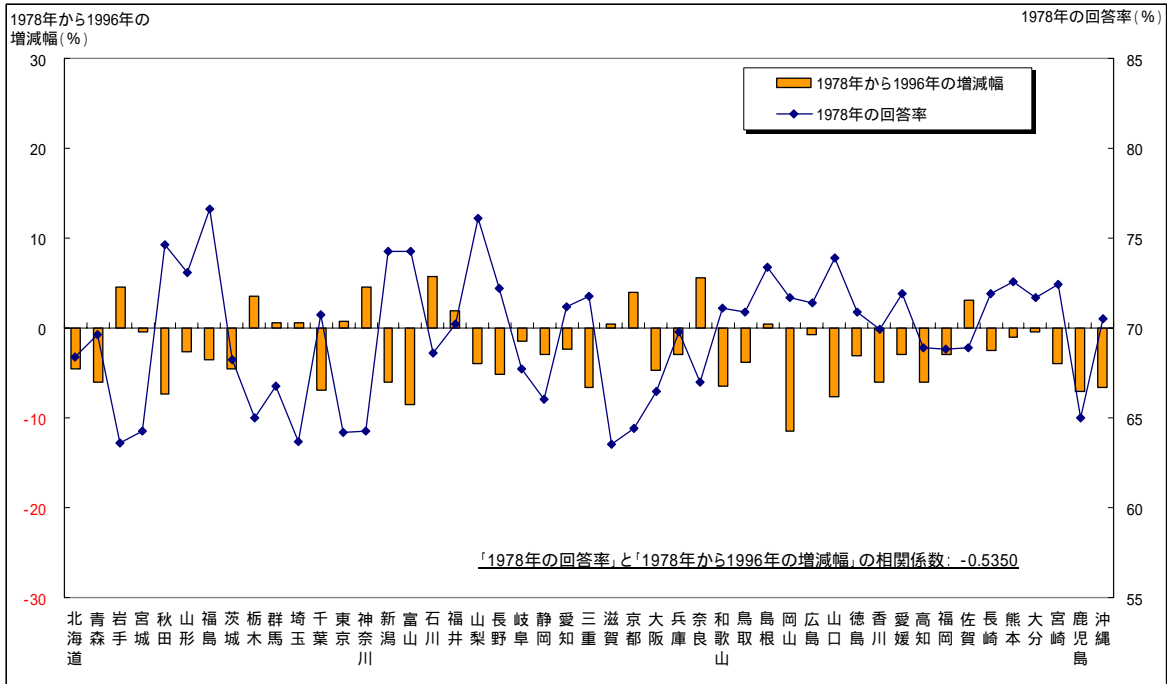
c 「職場や仕事でつきあっている人と仕事以外のことでもつきあうことが多いですか」(NHK 全国県民意識調査)



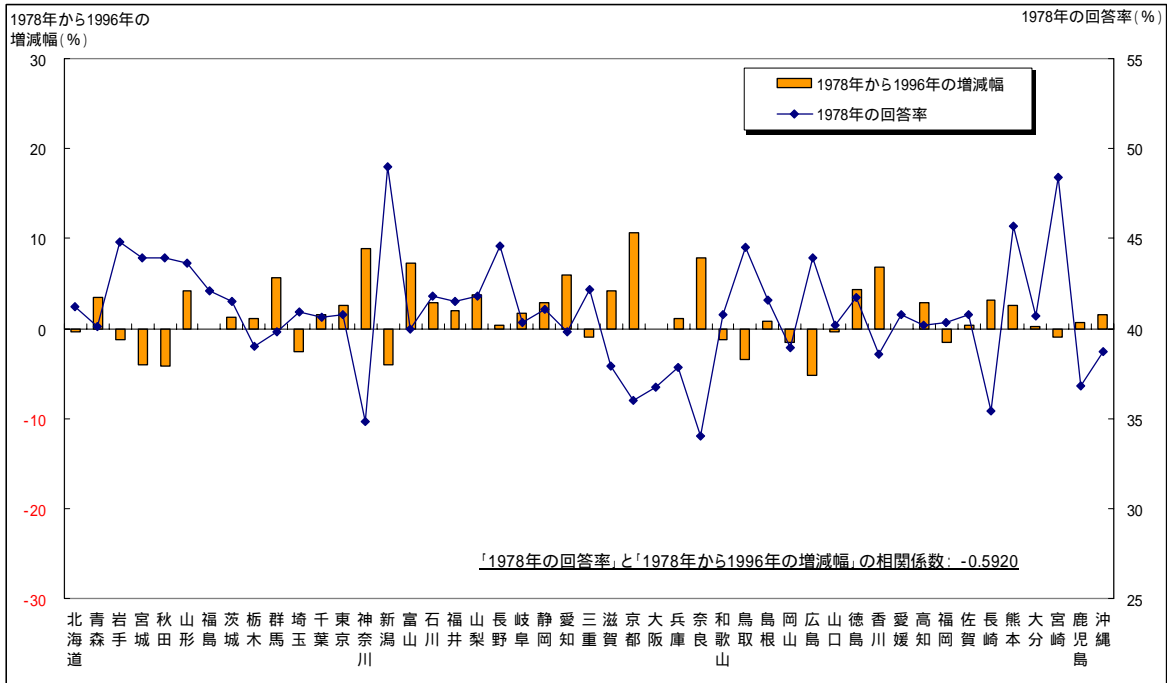
d 「隣近所の人には信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)



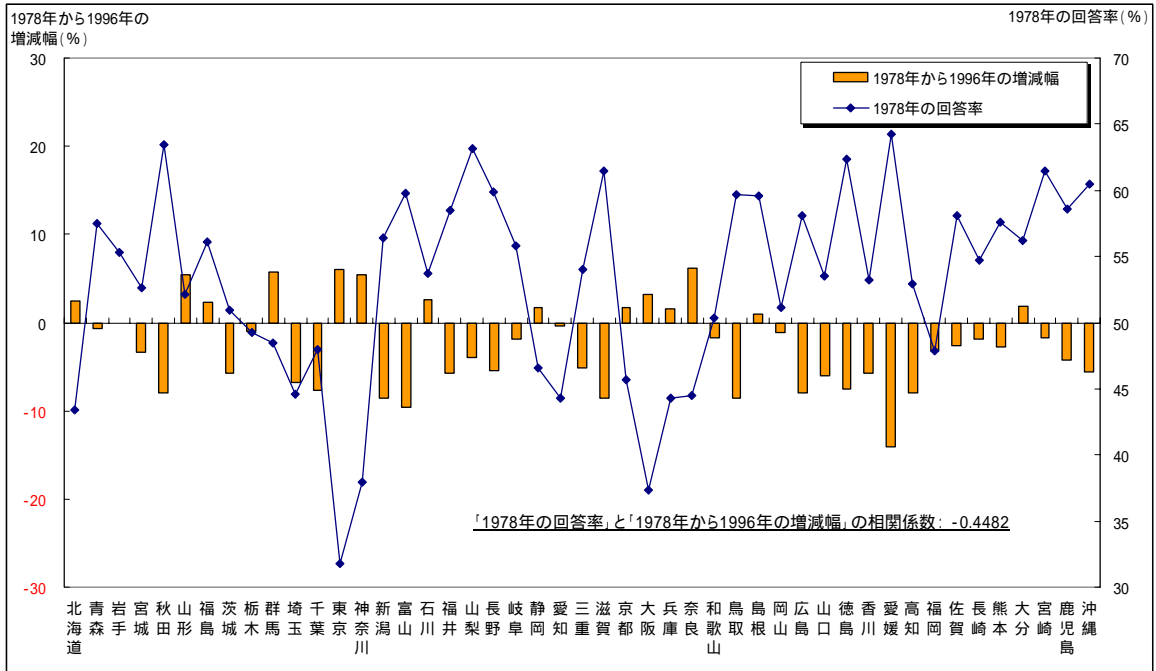
e 「親せきに信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)



f 「職場や仕事でつきあっている人には信頼できる人が多いですか」(NHK 全国県民意識調査)



g 「あなたは地元の行事や祭りには積極的に参加したいと思いますか」(NHK 全国県民意識調査)



h 社会奉仕活動の活動者率 (社会生活基本調査)

